

平成29年第3回明和町議会定例会一般質問事項

平成29年9月8日（金）

1 7番 齋藤一夫議員

1. 災害対応について

- (1) ハザードマップの町民への理解促進は。
- (2) 避難困難者に対する対応は。
- (3) 防災手帳の作成・配布は。

2. 町制施行記念について

- (1) 20周年記念式典の計画は。
- (2) 記念事業への住民の参加は。
- (3) 今後の記念事業年度の間隔は。

3. 環境について

- (1) いたくらりサイクルセンターの明和町の利用状況は。
- (2) もったいない館・もったいない東館の利用状況は。
- (3) 不法投棄対策の現状と今後の対策は。

2 12番 今成 隆議員

1. 教育について

- (1) 学習塾等民間教育機関の多様な担い手を義務教育に活用する必要性は。
- (2) イノベーションを生むシステムの転換へ向けた教育改革の必要性は。
- (3) クールジャパン政策における教育機関と連携した人材育成の必要性は。
- (4) 義務教育における特別な才能を持った児童に対する支援の必要性は。

3 9番 早川元久議員

1. 夏休み工場見学ツアーについて

- (1) 8月5日に行われた夏休み工場見学ツアーの参加者数と参加者の感想は。
- (2) 広報めいわ7月号に掲載された8月22日のバスツアーの本町での参加者数は。
- (3) 町内の企業、史跡などを見学する計画は。

2. 国道122号の交差点について

- (1) 川俣、大佐貫、矢島交差点に矢印式信号機の設置はできないか。

3. 福祉タクシー券について

- (1) 車の所有に関係なく福祉タクシー券を交付できないか。

4 8番 栗原孝夫議員

1. 外来害虫対策について

- (1) クビアカツヤカミキリの被害の調査方法と把握している被害の状況は。
- (2) 個人の敷地の被害調査はどのようにしているのか。
- (3) 害虫及び木の処理方法は。
- (4) ヒアリ及びセアカゴケグモに対する対策は。
- (5) 他に近隣で報告のある迷惑外来害虫はあるのか。今後の対策は。

5 3番 奥澤貞雄議員

1. 経済創成連携協定

- (1) 千代田町との経済連携協定のみで他自治体との協定は考えていないのか。
- (2) 今現在計画中の経済連携事業はあるのか。
- (3) 民間資本を導入し易くするため、PFI/PPPを活用した展開を考えていくようだが、具体的な施策は。
- (4) 連携事業を推し進めるため、行政組織の専門部署を立ち上げるようだが、本町はどのような構成を考えているのか。
- (5) 経済団体と町とで出資して（まちづくり会社）を設置していくようであるが、具体的な経済団体と交渉は始まっているのか。

2. 文化芸術の強化

- (1) 文化芸術面では、多くの町民の前で表彰されることが、少ないようである。何かしらの理由があるのか。
- (2) 町では、豊かさのバロメーターになる文化芸術を強化して行って頂きたいが、策を考えていただけるか。

3. ふれあいセンターと学童の区分

- (1) ふれあいセンターは町民がだれでも自由に使える施設で良いのですが、放課後、小学生が、宿題や遊びの空間として利用しているのを、開設当時見かけたが、学童の有料施設との区別は、心配ないのか。

6 4番 岡安敏雄議員

1. 2020年オリンピック合宿誘致等について

- (1) 2020年オリンピックが開催されるが首都圏から近い館林市邑楽郡は世界160余の国・地域にとって利用しやすい環境にあると思う。近隣の市町と協力して合宿など誘致活動をしてはどうか。
- (2) 2028年には45年ぶりに国体県内開催も準備されている。明和町でも競技種目を受け入れる施設を作れないか期待するが、町の考えや検討は。

2. 遊休農地の現状と課税強化対象地について

- (1) 町内の遊休農地の現状は。
- (2) 課税強化とされる要件に該当してしまった対象農地はあったのか。あったとすればその税額はどの程度か。また、今後の見通しは。
- (3) 課税強化に対してどのように周知されたのか。また、今後の対応は。

3. 道徳教育の教科化への対応状況について

- (1) 来年度から小中学校で道徳教育が教科化されるというが、これまでの道徳との相違は。
- (2) 教員の対応方策は、教育委員会でどのように検討されているのか。